

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

<13週> A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘の定点当たり報告数が例年の同時期より増加 / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.4

<麻疹流行状況> 2000年第13週(3月27日～4月2日)の、報告患者総数は607、定点当たり報告数は0.21



病原体情報  
P.5

インフルエンザウイルス分離報告 B型は広島市、福岡市、仙台市、大阪市、奈良県より1件ずつ / 感染性胃腸炎 SRSVおよびロタウイルス検出報告 / 流行性角結膜炎患者から分離されたアデノウイルス報告



IASRからの速報  
P.6

Shigella flexneri 2aによる保養施設宿泊者の集団感染事例



海外感染症情報  
P.7

ドイツにおけるラッサ熱輸入例 / スーダンにおける髄膜炎性疾患 / Haj(メッカ巡礼)から帰国した巡礼者の髄膜炎菌感染症



感染症の話  
P.8-13

クロイツフェルト・ヤコブ病



読者のコーナー  
P.14



グラフ総覧(13週)  
P.15-21



13週のデータ  
P.22-29



# 発生動向総覧

第13週コメント 4月10日集計分

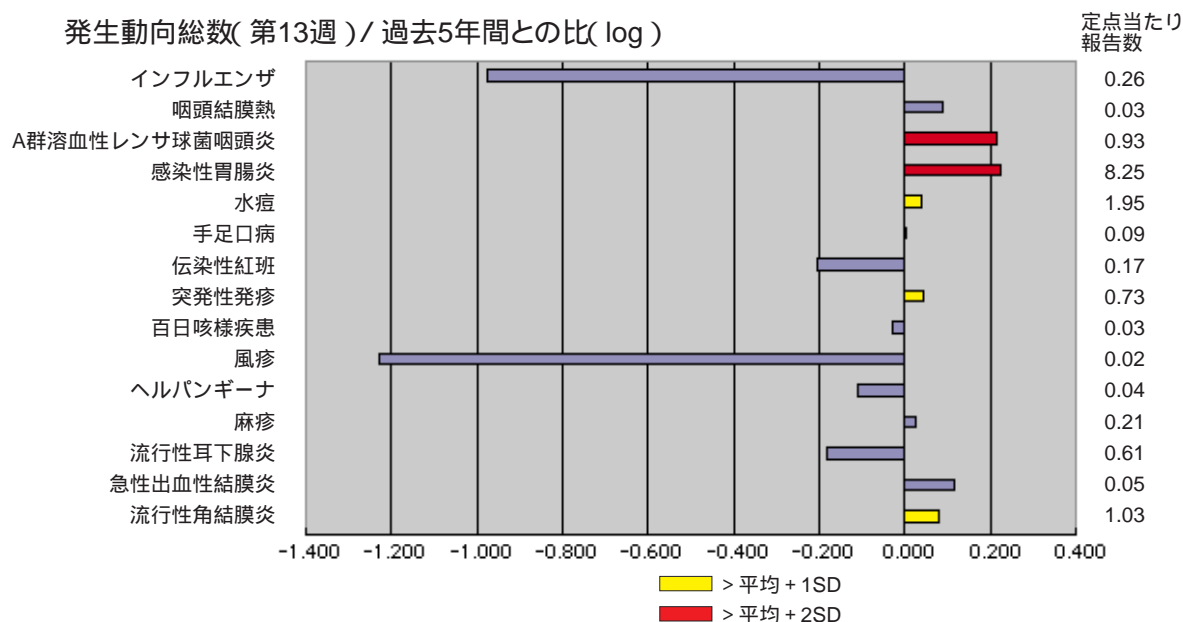
## 全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ1例( 推定感染地: タイ )
  - 細菌性赤痢15例( 推定感染地: 国内4例、インド3例、タイ3例、インドネシア1例、カンボジア1例、ソロモン1例、モルジブ1例、フィリピン1例 )
  - 腸チフス4例( 推定感染地: 国内1例、インド2例、不明1例 )
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症8例
- 4類感染症: アメーバ赤痢7例
  - エキノкокクス症1例( 推定感染地: アルゼンチン )
  - 急性ウイルス性肝炎12例
    - A型5例\_\_推定感染地: 全て国内感染
    - B型6例\_\_性行為感染1例、不明5例
    - 不明1例
  - クロイツフェルト・ヤコブ病2例( とともに孤発例 ) 後天性免疫不全症候群5例、ジアルジア症1例、髄膜炎菌性髄膜炎1例、ツツガムシ病1例、梅毒3例、VRE1例、レジオネラ症6例( うち静岡県5例 )
  - マラリア1例 熱帯熱マラリア1例( 推定感染地: ブルキナファソ )

## 定点把握の対象となる4類感染症( 週報対象のもの )

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘の定点当たり報告数が例年の同時期より多い。感染性胃腸炎は患者報告数も多く、過去10年間で最大の流行曲線を描いている( 16ページグラフ総覧、感染性胃腸炎参照 )。患者の年齢階級別で見ると、1歳児と2歳児で全体の約3割を占め、ピークは1歳にある( 病原体については5ページ参照 )。水痘は沖縄県で定点当たり5.2の報告がある。麻疹は依然流行のみられる大阪府、千葉県、香川県に加え、兵庫県、岐阜県、滋賀県でも患者報告数が多くなっている( 4ページ注目すべき感染症参照 )。非流行期の流行性角結膜炎の定点当たり報告数が例年より多くなっており、宮崎県で定点当たり報告数が4.0、茨城県で3.6、滋賀県で3.0となっている。

発生動向総数( 第13週 ) / 過去5年間との比( log )

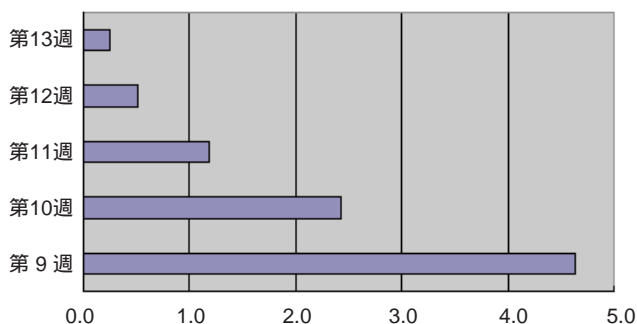


当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 ) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

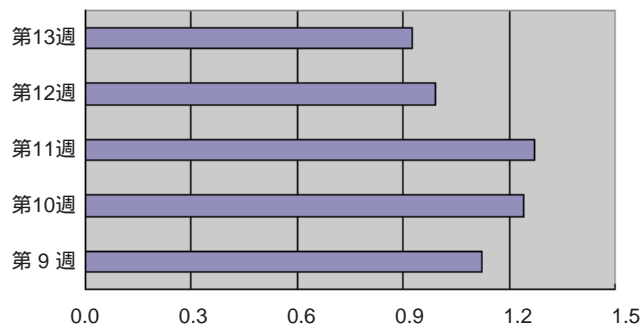
## 最近の注目疾患-5週間の動き

インフルエンザは、前週の定点当たり報告数が0.5、今週は0.3となっており、7週連続で前週より減少している。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎は2週続けて定点当たり報告数が前週より減少した。水痘の定点当たり報告数はほぼ横ばいとなっている。麻疹患者の定点当たり報告数は8週続けて前週を上回り、大阪府、香川県、千葉県、兵庫県、岐阜県、滋賀県などで患者報告数が多くなっている。麻疹は既に流行期に入っており、今後も患者数の増加が予想されるので、疾患の動向に注意が必要である。

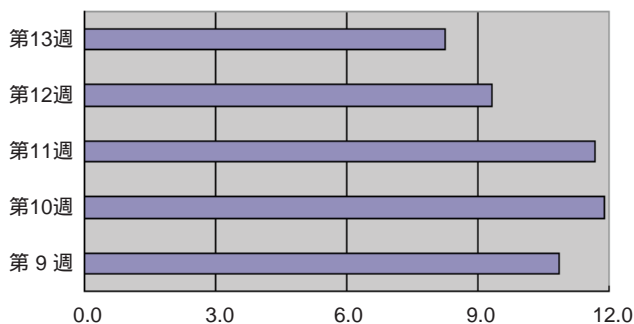
インフルエンザ



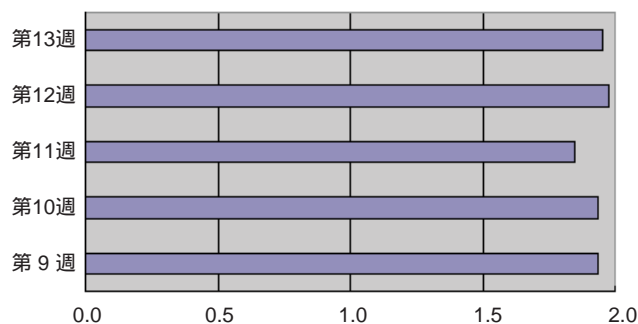
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



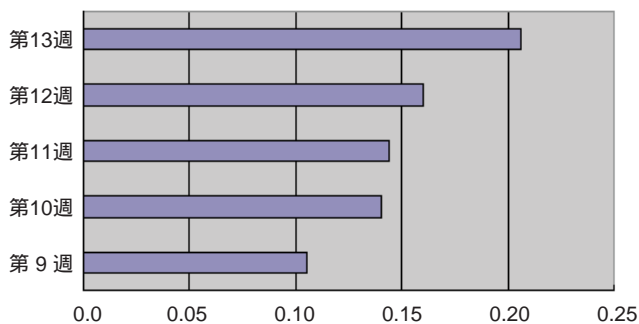
感染性胃腸炎



水痘



麻疹



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



# 注目すべき感染症

## 麻疹流行状況

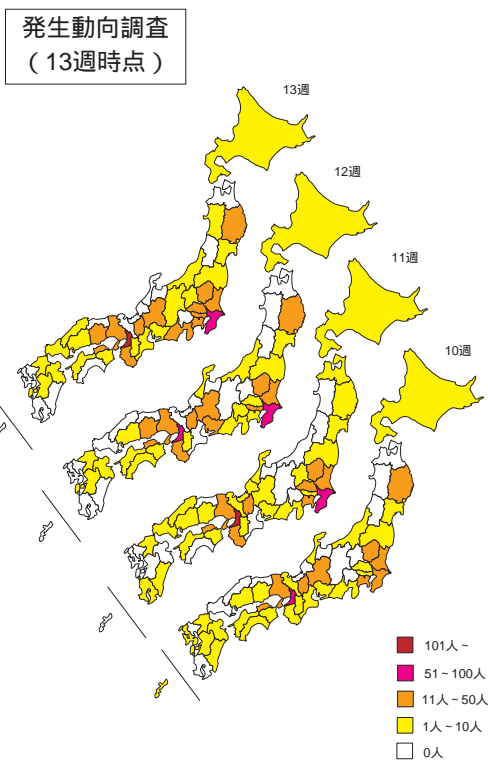
2000年第13週( 3月27日 ~ 4月2日 )の、全国定点医療機関からの麻疹報告患者総数は607で、定点当たり報告数は0.21である。2000年第1週からの累積患者数は3,880、性別内訳は男2,134、女1,746とやや男性に多い。年齢階級別では1歳未満52(うち6ヶ月以下62)、1歳946、2歳441、3歳314、4歳251、5~9歳828、10~19歳512、20歳以上60となっている。1999年4月より施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下新法)」によれば、小児科定点から報告される麻疹患者は18歳未満の小児であるが、小児科を受診する成人麻疹患者もあり、実際はこれらの症例が小児科定点を通じて報告されている。

新法では別に「成人麻疹」という項目を設けてサーベイランスを行っているが、これらの症例は基幹病院定点からの報告であり、多くは入院を要するような比較的重症例であると考えられる。2000年第1週からの成人麻疹累積患者数は33で、年齢階級別では、~19歳7、20~24歳12、25~29歳8、30~34歳6、35歳~が0となっている。

今年の麻疹流行曲線(18ページグラフ総覧、麻疹参照)をみると、過去10年間と比較して特別大きな流行ではないが、95、97、98、99年より定点当たり報告数が多くなっている。現在のところ、都道府県別では、以下の地図グラフで示すように、大阪府、千葉県、香川県、兵庫県、岐阜県、滋賀県で患者報告数が多くなっている。

世界の主要諸国における麻疹ワクチンの接種率は90%以上になっているにも関わらず、日本では平均約77%にとどまっている(平成12年予防接種副反応研究班)。年間麻疹発症者を100人以内にとどめるなど、厳しい麻疹コントロールを行っている米国では、日本はドイツやフィリピンとともに「麻疹輸出国」のひとつと言われている。(1998年にはアラスカに、今年に入ってアメリカ本土に輸出例がでている。)

麻疹に罹患した場合、肺炎や脳炎による合併症による小児の死亡率は高く、我が国では1~2%にのぼるといふ報告がある。麻疹の患者発生ピークは4~5月であり、今後の疾患の動向に注意が必要である。



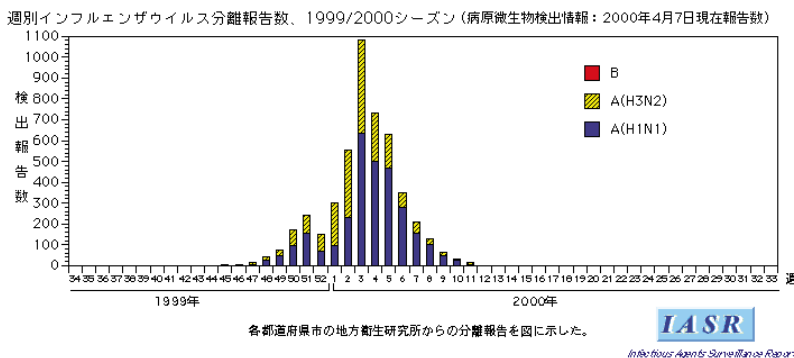


# 病原体情報

## インフルエンザ 1999/2000シーズン\*( 2000年4月10日現在報告分 )

病原微生物検出情報事務局に入ったインフルエンザ分離報告をまとめると、A/香港型ウイルス( H3N2 ) は1,867、A/ソ連型ウイルス( H1N1 ) は2,973とソ連型の分離が多くなっている。今シーズンのB型分離報告は広島県、福岡市、仙台市、大阪市、奈良県より1件ずつ計5件である。

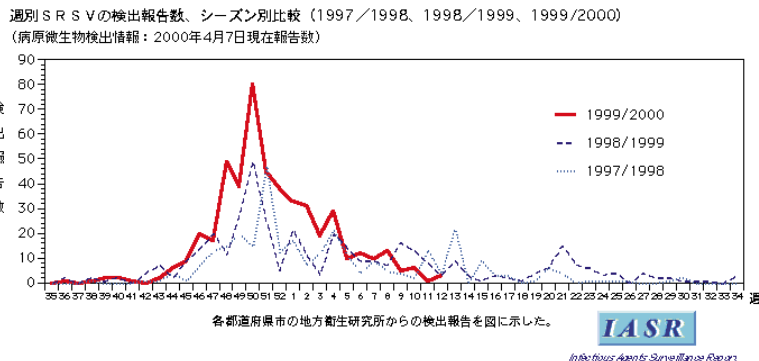
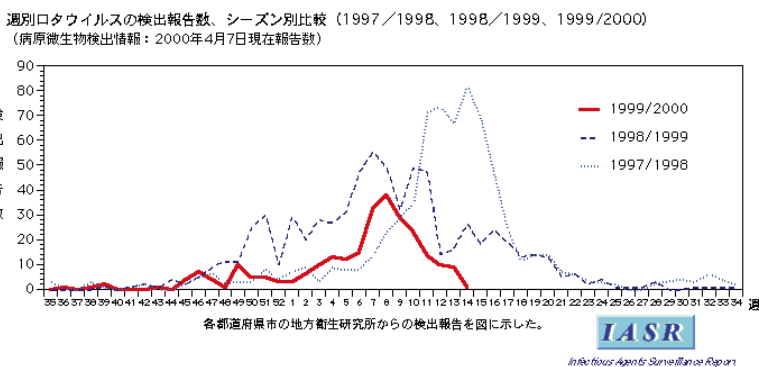
\*1999/2000シーズンは1999年第34週( 8/22-8/28 )から。



## 感染性胃腸炎 1999/2000シーズン\* SRSVおよびロタウイルス 検出報告( 2000年4月10日現在報告分 )

今シーズンのSRSV検出総数は485件で、検出報告数は1999年第50週をピークに減少中である。ロタウイルスの検出報告は、現在のところ2000年第7、8週にピークが見られている。今シーズンのロタウイルス検出総数は271件で、2000年に入って大阪府、奈良県、新潟県、香川県、大阪府などから計227件の検出報告があった。

\*1999/2000シーズンは1999年第35週( 8/29-9/4 )から。



## 流行性角結膜炎患者から分離されたウイルス

2000年( 2000年4月10日現在報告分 )

例年より定点当たり報告数が多い流行性角結膜炎患者からは、岡山県からアデノウイルス4型が2件( 第2週、5週 ) 神奈川県からアデノウイルス19型が1件( 第2週 ) の分離報告があった。

**IASR** 病原微生物検出情報月報 からの速報

**Shigella flexneri 2aによる保養施設宿泊者の集団感染事例**

1999(平成11)年10月、バス旅行をしたグループ(グループA)の会員が相次いで、下痢、腹痛、発熱等を主症状として横須賀市内医療機関を受診している旨の連絡があったため、集団・食中毒発生の調査が開始された。

10月21日グループAは群馬県内の保養施設へ1泊2日のバス旅行をした。10月23日午後～翌日24日午前にかけて、会員の大半が下痢(水様、粘血もしくはゼリー状の便性状)、腹痛、発熱、嘔吐、嘔気などの激しい症状を呈した。

10月24日、市救急医療センターから6名の患者糞便材料が当所に搬入され、Shigella flexneri 2aが分離されたところより、本集団事例は赤痢菌によるものと断定された。

市は赤痢防疫対策本部を設置し、二次感染防止および原因究明を目的とした調査を開始した。11月19日の本部解散までに当所で実施された赤痢菌検査は、有症者グループ29(グループA27、他グループ2)名、無症者グループ23名、患者家族70名、他24名の計146名(患者・有症者の再検査52名を除く)であった。このうち、有症者19名、および患者家族1名から赤痢菌が検出された。

グループAが宿泊した10月21日を除き下痢、発熱、腹痛等の赤痢様症状を呈した施設利用者は確認されなかったことから、原因菌検索は21日の宿泊者に絞りこみ実施された。

本市における検出赤痢菌はグループAの18件、他グループの1件および二次感染者(接触者)1件の計20件であった。薬剤感受性については、すべての検出赤痢菌がABPC、CP、SM、TC、およびTMIに耐性を示す多剤耐性菌であった。PFGEによるDNA多型性の解析では、9患者由来菌株の制限酵素(XbaI、BlnI)切断パターンは完全に一致した(神奈川県衛生研究所で実施)。

以上、本事例はPFGEを用いた分子疫学的解析により、同一のS. flexneri 2aによる保養施設宿泊者の集団感染であることが示唆された。原因食品、感染経路については明らかにされなかったが、現在、群馬県衛生環境研究所は本市と他県で検出された赤痢菌についてPFGE等によるDNA多型性の解析を実施中である。

横須賀市衛生試験所

蛭田徳昭 山口純子 片倉孝子 増山 亨 三留昭一

横須賀市保健所

(病原微生物検出情報4月号-IASR vol.21 No.4, 2000-掲載記事より抜粋、詳細は同号参照)





## 海外感染症情報

### ドイツにおけるラッサ熱輸入例

WHO/CSR 2000年4月4日

ドイツでラッサ熱による死亡例( 輸入例 )が報告された。患者はナイジェリア国籍でナイジェリアで働いていたが、治療のため航空機によりドイツに緊急輸送された。ハンブルクにあるBernhard-Nocht Institutに患者の検体が送付され、ウイルス検査によりラッサ熱と診断が確定した。患者と接触のあった者について追跡調査が行われており公衆衛生当局によりフォローアップが行われる予定である。

### スーダンにおける髄膜炎菌感染症

WHO/CSR 2000年4月7日

スーダンでは2000年1月1日から3月31日までに髄膜炎菌感染症による患者総数2,549名、うち死者186名の報告があった。Bahar aj Jabal州で最も感染者が多く、本日まで死者99名を含む患者1,437名がJuba市地区で報告された。感染のあった州は他にはWhite Nile州( 患者197名、死者15名 )、South Kordofan州およびSennar州である。



### Haï( メッカ巡礼 )から帰国した巡礼者の髄膜炎菌感染症

Eurosurveillance Weekly 2000年4月7日

英国で髄膜炎菌感染症と診断が確定された10例と疑い11例は、2000年3月21日以来サウジアラビアのメッカ巡礼からの帰国者と関連があった。9例に髄膜炎菌血清型W135感染が確認され、そのうち3名が死亡した。1例では髄膜炎菌の血清型は特定されていない。サウジアラビアの当局によると125万人が海外から訪れており、その人たちは極めて密集した状態にあった。

WHOとEuropean centresでは、フランスから血清型W135の4例と疑い11例を、ドイツからも1例の感染例( 血清型は報告なし )の報告を受けている。

サウジアラビア当局は巡礼にきた人にA群髄膜炎菌( 2歳以上の人にはA群とC群 )のワクチン接種証明書を提示することを要求している。



## 感染症の話

### クロイツフェルト・ヤコブ病

Creutzfeldt-Jakob disease (CJD) は百万人に一人の割合で大多数が孤発性に生じる希な疾患である。CJDは1920年代初頭、ドイツの神経病理学者CreutzfeldtとJakobによって神経病理学的に特徴のある致死的疾患群の一つとして記述された。その後、初老期痴呆群に属する変性疾患であるCJDが、脳のスポンジ状変化、クールー斑の観察結果、実験動物への伝達性といった点から、別々に記載されていた遺伝性小脳失調症状を呈するGerstmann-Sträussler-Scheinker syndrome (GSS)、ニューギニア先住民に発生していたkuruなどと類縁疾患であることが確認されていった。現在ではこれらの疾患群がプリオン(prion, proteinaceous infectious particle) という概念によって説明できる範疇にあることが広く認められている。プリオンの概念を用いると成因によってCJD類縁疾患は、孤発性CJD、GSSなどの遺伝性プリオン病、感染性プリオン病に再分類することができる。

米国のPrusinerが核酸のない蛋白性の感染病原体としてプリオン仮説を提唱し、広く受け入れられ、1997年のノーベル医学生理学賞を受賞するには非常に長い時間が必要とされた。病原体に含まれる主体蛋白因子は後に同定されプリオン蛋白(Prion protein) と呼ばれている。プリオン蛋白の遺伝子は宿主の染色体DNAに存在し、病原体のプリオン蛋白は宿主蛋白に由来していることも判明した。正常プリオン蛋白は神経細胞表面へ発現され再び細胞内へ取り込まれる間に何らかの生理的機能を発揮していると考えられている。この経路のどこかで正常プリオン蛋白がプロテアーゼ抵抗性の異常プリオン蛋白へ質的变化し脳内に蓄積、神経細胞を障害しプリオン病を発病する。プリオン蛋白の質的变化に関わる他の宿主因子、複製における異常プリオン蛋白の役割、プリオン病原体のプリオン蛋白以外の構成成分等、現在活発に研究され議論を呼んでいる。

このように疾患としての概念と病理が長い時間をかけ徐々に認められてきたプリオン病の感染症としての一面がクローズアップされたのは4年前の英国に端を発しており、食用牛の摂取によると推定されるnew-variant CJD出現の報告が、この病名を初めて社会全般に浸透させた。

### 疫学

我が国を含め、世界各国の古典的CJD有病率は同一で、人口100万人対1前後であり、希な疾患である。地理的に差がない感染症としてもCJDは特異性を示している。発症年齢の平均は62歳であり、女性が男性よりやや多い。大多数が孤発例で家族性あるいは遺伝性のGSSが約10%ある。

上記したnew-variant CJDは1999年7月までに英国で40名報告されており、今後の推移予測には百数十から千台へと非常に差がある。フランスで1名報告されている他、ロンドン在住が長かった患者が1名、アイルランド帰国後new-variant CJDを発症しているという情報がある。New-variant CJD発生経緯について関連事項を以下に示す。

食肉用ウシの畜産経営は飼料を安く抑えることで、純益が増加するが1970年代後半英国において濃厚飼料(ヒツジまたはウシの骨粉、内臓由来タンパク質を混入させたもの)の開発により、高栄養で安価な飼料供給システムができあがった。この開発によりそれまでプリオン病の報告されていない畜産用ウシにはじめてプリオン病、bovine spongiform encephalopathy (BSE) を創出したことが疑われる結果になった。1999年初頭の統計で173,000頭が確認されているBSEの最初の報告は1985年2月に行われている。米国では1988年3月、kuruの記載と伝達性の証明によりノーベル賞を受賞しているNIHのGajdusekによるBSEの詳細な解析が行われ、濃厚飼料の開発研究が禁止された。この決定によりその後も、米国の食肉用ウシにBSE発生の報告はない。1996年3月



に計10名の古典的CJDと異なる臨床経過と病理像を示す20歳代のCJD例、new-variant CJDが報告されBSEとの濃厚な関係が疑われた。現在まで、数種類の解析結果がこのnew-variant CJDとBSEの類似性を示し、new-variant CJDはBSEウシのおそらく神経組織の摂取によることが原因であるという推測が支持されつつある。EUでは英国産の牛肉について1996年春から輸出を禁止してきたが、430万頭のウシを屠殺処理した後、BSEは激減したため、1999年8月から解除している。また米国、カナダ、ニュージーランド及びわが国では1980年から1996年に英国に6ヶ月以上滞在した人の献血はしないことになっている。

### 病原体

上記したように病原体の主体は宿主プリオン蛋白由来の蛋白成分である。プリオン病の脳からは界面活性剤処理により、幅4nm、長さ数百nm程度の感染性のある微細線維状物質が観察され、主に異常プリオン蛋白の凝集によるものであることが報告されている。しかし病原体が得られた臓器によって、異常プリオン蛋白の量と感染価は一致しないことがあり、プリオン蛋白以外の感染に影響する因子が想定されている。

CJDは、経気道、経口感染はないとされるが、大量病原体を経口摂取した場合の発症が疑われている。またCJD患者からの移植(角膜、硬膜) CJD患者由来のヒト下垂体ホルモン投与、病原体に汚染した深部脳波電極を使用した検査により感染したとの報告がある。紫外線、エタノール等の消毒法が無効であり、手の汚染、注射針等の刺傷、感染物の眼への飛沫や手で眼をこすることをさける。汚染したものは焼却するかSDS(sodium dodecyl sulfate)を3%含む溶液中で100℃、5分間以上加熱処理する。臨床材料はBiosafety level 2(BSL-2)にて扱う。プリオン病原体等の臨床材料または剖検材料からの抽出はBSL-2内の安全キャビネットで行う。

### 臨床症状

古典的CJDは精神症状と高次機能障害(記憶力低下、計算力低下、失見当識、行動異常、性格変化、無関心、不安、不眠、失認、幻覚など)で初発する。発病より、数ヶ月で痴呆、妄想、失行が急速に進行し筋硬直、深部腱反射亢進、病的反射陽性が認められる。さらに起立、歩行が不能になり、3-7ヶ月で無動性無言状態に陥る。1-2年で全身衰弱、呼吸麻痺、肺炎などで死亡する。

New-variant CJDは20代の若年に高発する。不安、感覚障害で初発し経過が長いのが特徴とされ、無動性無言状態に陥るのに1年を要する。この理由は、異種の病原体がヒトへの種差を乗り越え複製するのにより長い時間がかかっているためであると推測することができる。

### 病原診断

生前の確定診断法はないが、髄液中の14-3-3蛋白の検出が特にヒトで有効であるという報告が複数ある。脳波は初期から基礎律動の不規則性がみられ、その後高振幅鋭徐波(PSD)が出現する。画像上CTスキャンでは初期の軽度の大脳皮質の萎縮、脳室拡大がみられ、その後急速な大脳、小脳の萎縮、著明な脳室拡大、白質のびまん性低吸収域が認められる。CJD解剖例(北

大病理、長嶋和郎教授供与)の脳剖面(写真1)より大脳、小脳の脳溝拡大と全脳室の拡大が高度であり、大脳、小脳皮質が薄くなっていることがわかる。

病原体の分離には剖検材料(脳組織、扁桃、脾、髄膜、移植例では角膜)から異常プリオン(プロテアーゼ耐性)の同定を免疫組織化学またはウエスタンブロットにより行う。解剖脳の検索では皮質の萎縮、特有の海面状変化、神経細胞の脱落、アミロイド斑が指標となる。異常プリオン蛋白からなるアミロイド斑を免疫染色した例(北大病理、長嶋和郎教授供与)を示す(写真2)。小脳顆粒層の境界部に抗プリオンペプチド抗体によって染色された部分を認める。PCRによるゲノムの解析は血液等から抽出したゲノムDNAをもとに、プリオン遺伝子のシーケンスを決定し遺伝性を調べる。日本人GSSでは東北大、北本哲之教授によってコドン102、105、145、219に変異が発見されている。ホルマリン固定後のギ酸不活化パラフィン包埋組織については危険性がなく室温における輸送が可能である。3%SDS中で5分間以上煮沸したサンプルに感染性はないので通常のサンプルと同様に保存する。器具等汚染の不活化は極めて困難である。(焼却あるいは3%SDS中で5分間煮沸、5%次亜塩素酸ナトリウム中に2時間以上室温で浸す。高圧蒸気滅菌は132℃で1時間行うが、乾燥した器具等には適さない。)

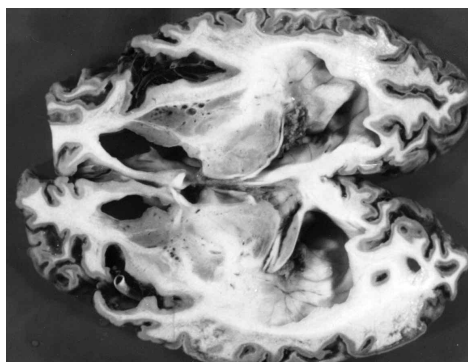


写真1. CJD解剖例の脳剖面  
(北大病理、長嶋和郎教授供与)

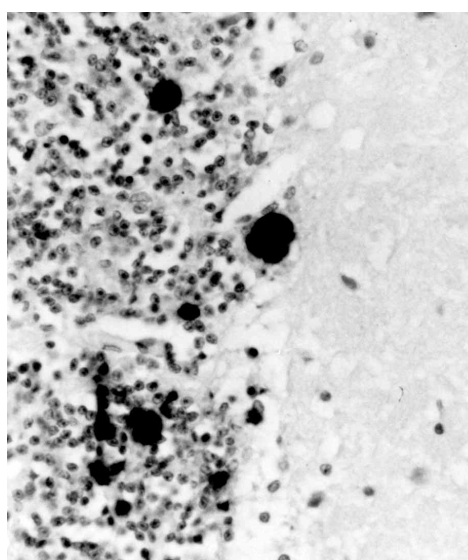


写真2. 異常プリオン蛋白からなるアミロイド斑を免疫染色した例  
(北大病理、長嶋和郎教授供与)

### 治療・予防

治療法は現在開発されておらず、対症療法が主体である。栄養の補給、関節拘縮、褥瘡、気道、尿路感染に注意する。プリオン病原体が種の違いをジャンプする可能性があるため、畜産哺乳類のプリオン病発生が近年報告されている国における神経組織の摂食には十分注意することが必要。ヒツジ脳はフランスで長く食されておりスクレーピーのヒトへの伝達は起こらないことが推定されるが1980年以降発生しているBSEがヒツジに伝達されていない確証がない現状では、ヨーロッパにおけるヒツジ脳の摂食には注意が必要と考えられる。

### 感染症新法の中でのクロイツフェルト・ヤコブ病の取扱い

クロイツフェルト・ヤコブ病(以下、CJD)は、第4類の全数届け出疾患に定められており、本症であることを診断した医師は診断から7日以内に保健所に届け出る必要がある。報告のための基準は、以下の通りである。

《報告のための基準》

孤発性CJD

1. 進行性痴呆を示し、表1に掲げる疾患を除外出来る症例。
2. ①ミオクローヌス、②錐体路又は錐体外路症状、③小脳症状又は視覚異常、④無動性無言の4項目のうち2項目以上の症状を示す症例。
3. 脳波に周期性同期性放電( PSD )を認める症例。
4. CJDに特徴的な病理所見を呈する症例、又はWestern Blot法や免疫染色法で脳に異常なプリオン蛋白を検出し得た症例。
  - ・ 疑い ( possible ) 上記1、2を両方とも満たす症例。
  - ・ ほぼ確実 ( probable ) 上記1 ~ 3をすべて満たす症例。
  - ・ 確実 ( definite ) 上記4を満たす症例。

家族性CJD

1. 進行性痴呆を示し、表1に掲げる疾患を除外出来る症例。
2. ①ミオクローヌス、②錐体路又は錐体外路症状、③小脳症状又は視覚異常、④無動性無言の4項目のうち2項目以上の症状を示す症例。
3. 脳波に周期性同期性放電( PSD )を認める症例。
4. 疾患特異的プリオン蛋白遺伝子変異が証明された症例。
5. CJDに特徴的な病理所見を呈する症例、又はWestern Blot法や免疫染色法で脳に異常なプリオン蛋白を検出し得た症例。
  - ・ ほぼ確実 ( probable ) 上記1 ~ 4をすべて満たす症例。
  - ・ 確実 ( definite ) 上記4及び5を両方とも満たす症例。

新変異型CJD

1. 若年発症( 平均年齢 : 20歳代 )で、亜急性進行性痴呆( 発病してから無動性無言状態にいたるまでの臨床経過が6ヶ月-2年かかる )を呈し、表1に掲げる疾患を除外できる症例。
2. ①早期に出現する精神症状( 不安、抑うつ、行動異常など )、②早期より認められる四肢、顔面の錯感覚又は異常感覚、③小脳症状、④ミオクローヌス、ジストニア又は舞踏運動のいずれか1つ以上の症状、⑤痴呆、⑥無動性無言の6項目のうち5項目以上の症状を示す症例。
3. 脳波にて典型的なPSDが見られない症例。
4. 医原性感染を疑わせる既往がない症例。
5. プリオン蛋白遺伝子変異が見られない症例。
6. 新変異型 CJDに特徴的な病理所見( 異常なプリオン蛋白からなるアミロイド斑が多数存在し、アミロイド斑の周りを海綿状態が取り囲む、いわゆるflorid plaque )を呈する、または、Western Blot法や免疫染色法で、脳もしくは扁桃に新変異型CJDに特徴的な異常なプリオン蛋白を検出し得た症例。
  - ・ 疑い ( possible ) 上記1 ~ 5のすべてを満たす症例。
  - ・ 確実 ( definite ) 上記5、6を満たす症例。

表1 .CJD(孤発性、家族性、新変異型)と鑑別を要する疾患

- ・老年痴呆(アルツハイマー型、脳血管障害型)
- ・パーキンソン痴呆症候群
- ・脊髄小脳変性症
- ・痴呆を伴う運動ニューロン疾患
- ・単純ヘルペス、後天性免疫不全症候群などのウイルス性脳炎
- ・悪性リンパ腫
- ・梅毒
- ・代謝性脳症(Adrenoleukodystrophy、ウェルニツケ脳症、甲状腺疾患に伴う脳症、肝性脳症、リポドーシス等)
- ・低酸素脳症
- ・その他の原因による老年期痴呆性疾患

GSS(ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー症候群)

1. 進行性小脳症状か痙性対麻痺のいずれか又は両方に、痴呆を合併し、表2に掲げる疾患を除外できる症例。
2. プリオン蛋白遺伝子に疾患特異的な変異が認められる症例。
3. 病理所見で、異常なプリオン蛋白陽性のアミロイド斑が認められる症例。
  - ・疑い (possible) 上記1を満たす症例。
  - ・ほぼ確実 (probable) 上記1、2の両方を満たす症例。
  - ・確実 (definite) 上記1～3のすべてを満たす症例。

表2 .GSSと鑑別を要する疾患

- ・家族性痙性対麻痺
- ・脊髄小脳変性症
- ・老年痴呆(アルツハイマー型、脳血管障害型)
- ・パーキンソン痴呆症候群
- ・痴呆を伴う運動ニューロン疾患
- ・代謝性脳症(Adrenoleukodystrophy、ウェルニツケ脳症、甲状腺疾患に伴う脳症、肝性脳症、リポドーシス等)
- ・低酸素脳症
- ・その他の病因による老年期痴呆性疾患

FFI( 致死性家族性不眠症 )

1. 臨床的に頑固な不眠、記憶障害、交感神経興奮状態( 高体温、発汗、頻脈など )、ミオクローヌなどを認め、表3に掲げる疾患を除外できる症例。
2. プリオン蛋白遺伝子のコドン178変異を有する症例。
3. 病理学的に視床の選択的海綿状変性が認められ、Western Blot法で脳に異常なプリオン蛋白を検出し得た症例。
  - ・ ほぼ確実 ( probable ) 上記1、2の両方を満たす症例。
  - ・ 確実 ( definite ) 上記2、3の両方を満たす症例。

表3 . FFIと鑑別を要する疾患

- ・ 視床変性症
- ・ 両側視床部血管障害
- ・ 老年痴呆( アルツハイマー型、脳血管障害型 )
- ・ 代謝性脳症( Adrenoleukodystrophy、ウェルニツケ脳症、甲状腺疾患に伴う脳症、肝性脳症、リポドーシス等 )
- ・ 低酸素脳症
- ・ 単純ヘルペス、後天性免疫不全症候群などのウイルス性脳炎
- ・ 悪性リンパ腫
- ・ 梅毒
- ・ その他の病因による視床症候群

《備 考》

本診断基準による「疑い」は、それぞれの条件に該当する症例である。従って、「いわゆる疑似症」ではないので、留意されたい。

( 国立感染症研究所 感染病理部 高橋秀宗 )





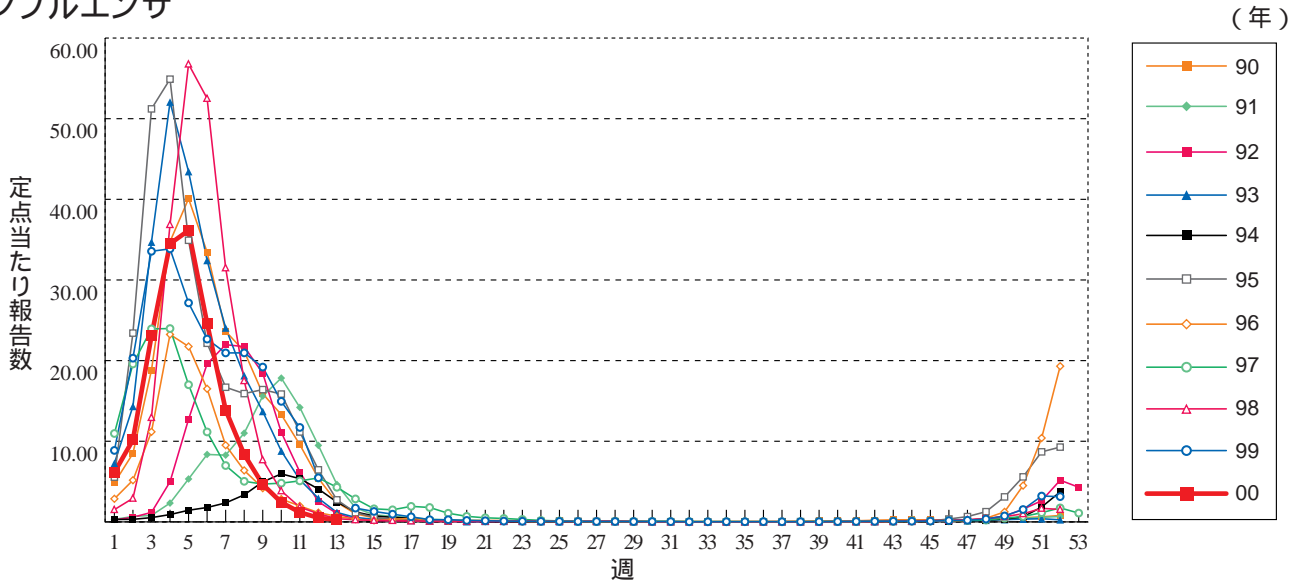
## 読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名( タイトル )の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

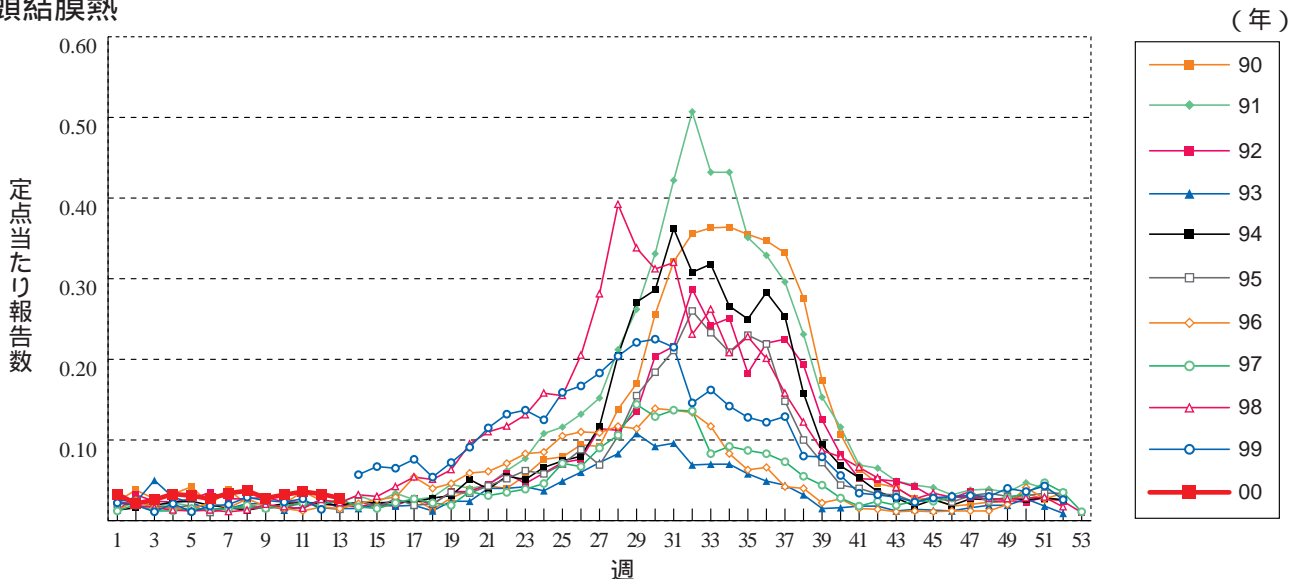
[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

**グラフ総覧(13週)**

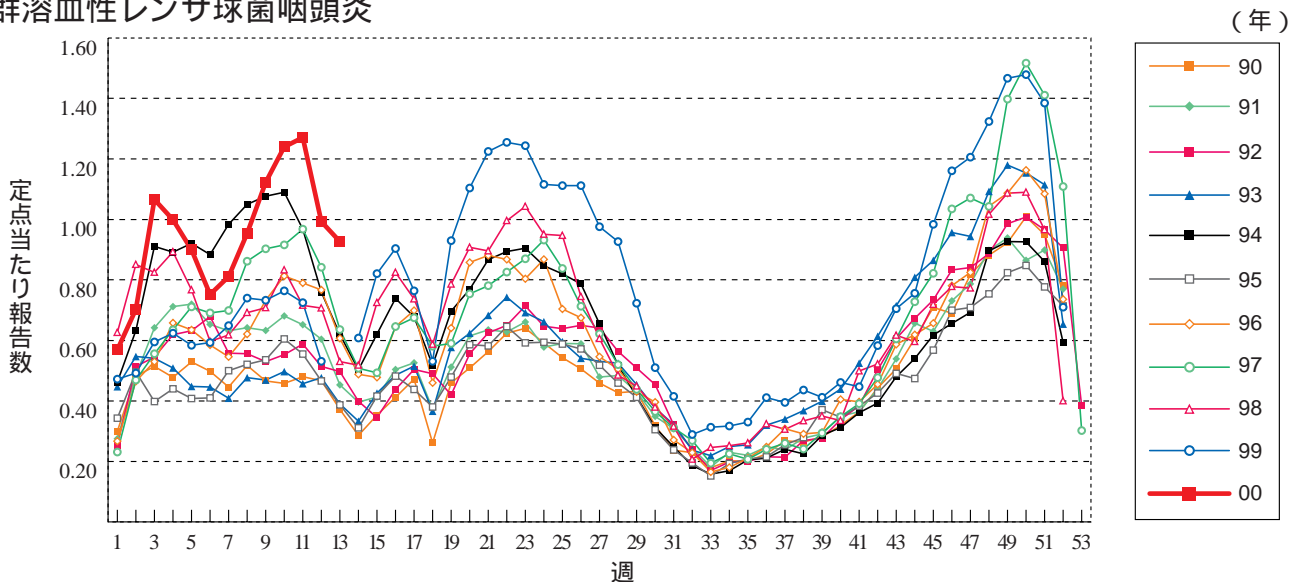
**インフルエンザ**



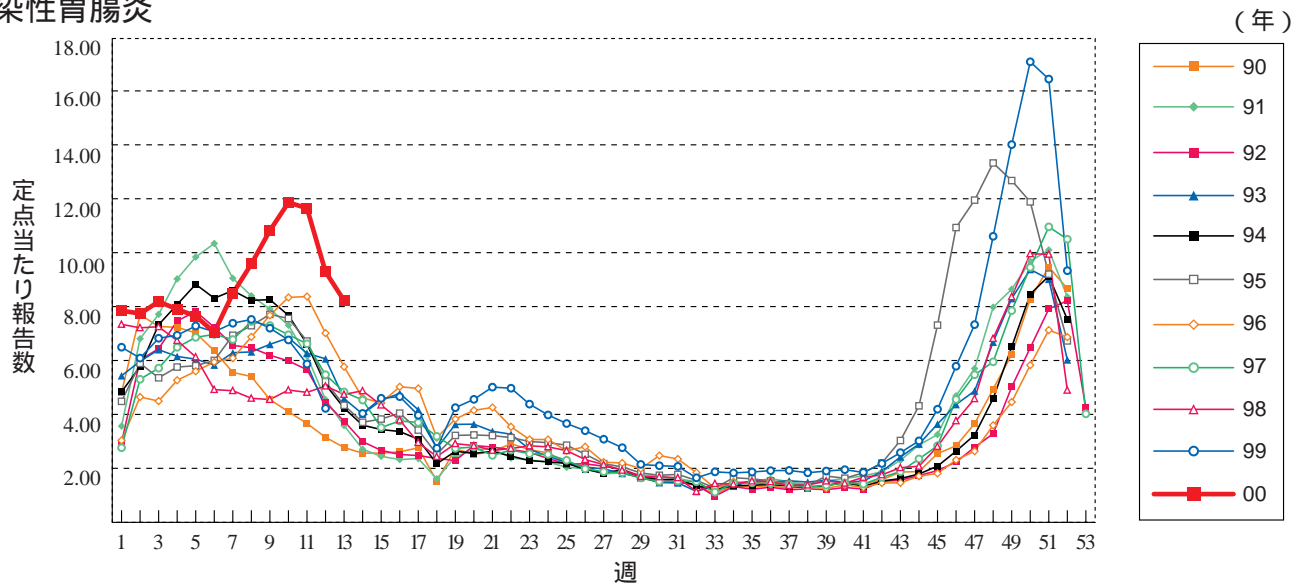
**咽頭結膜熱**



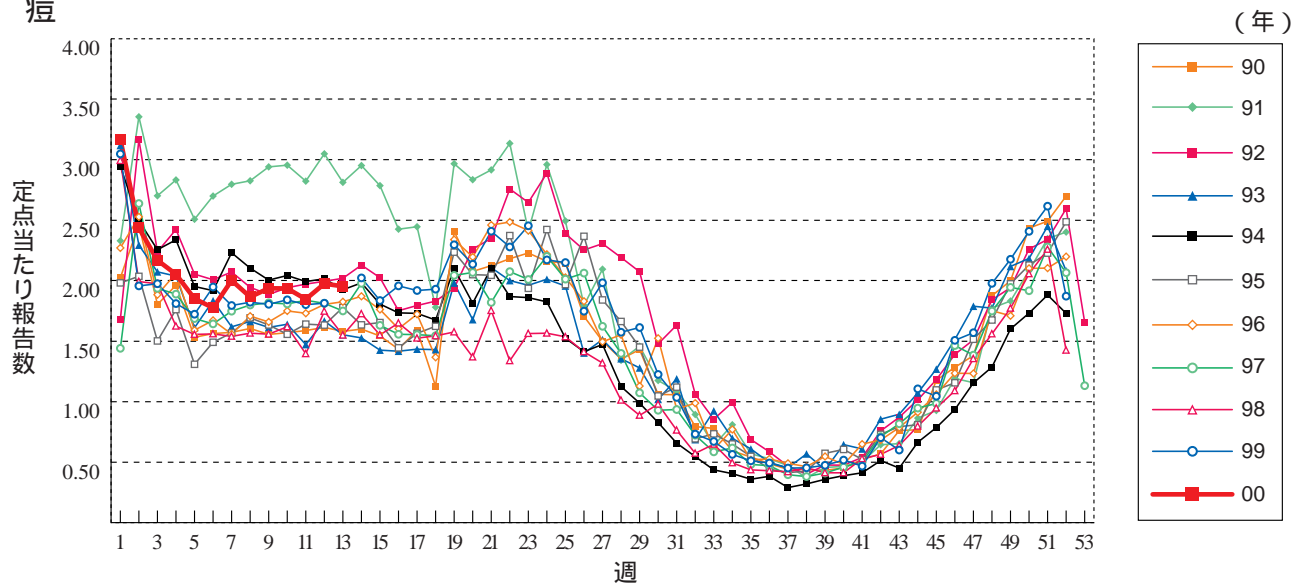
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



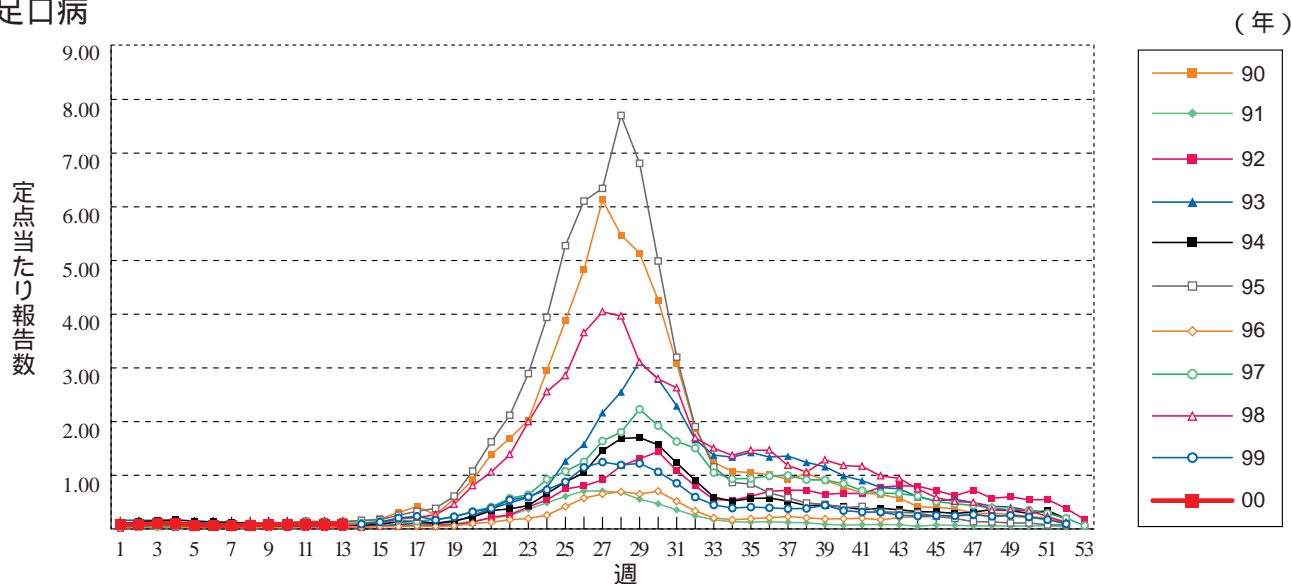
感染性胃腸炎



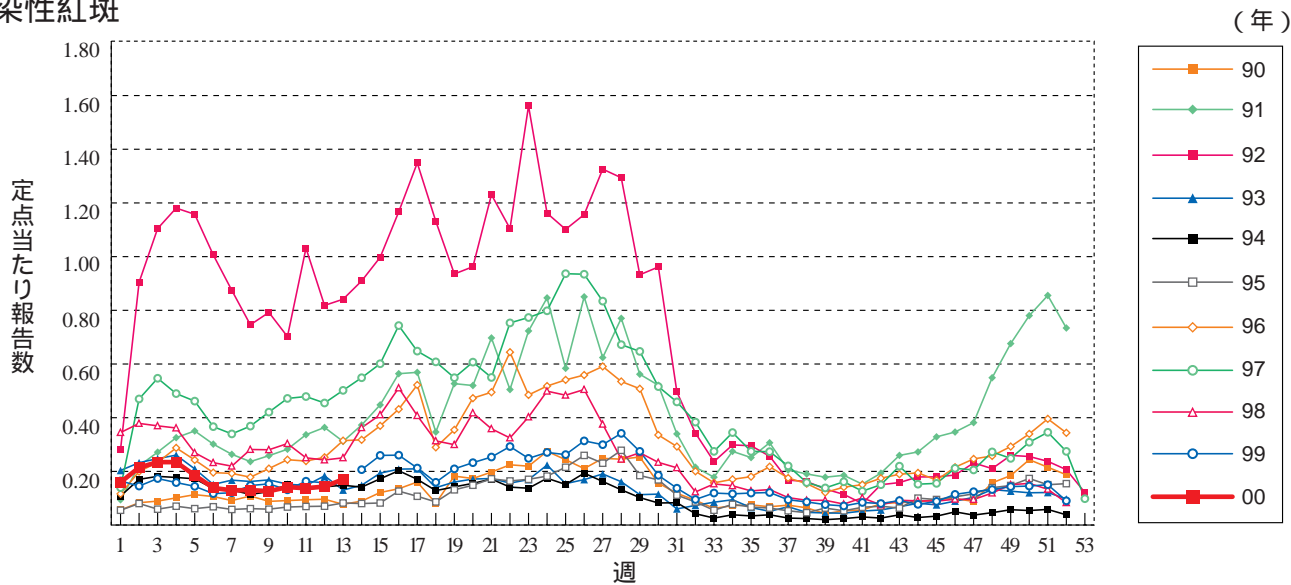
水痘



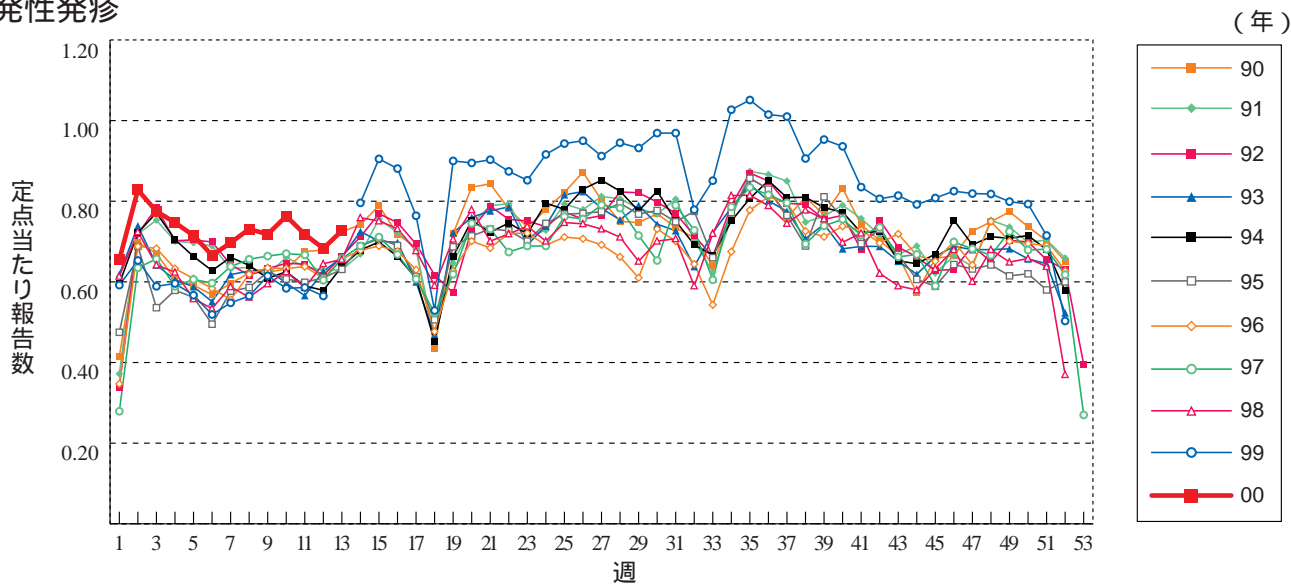
手足口病



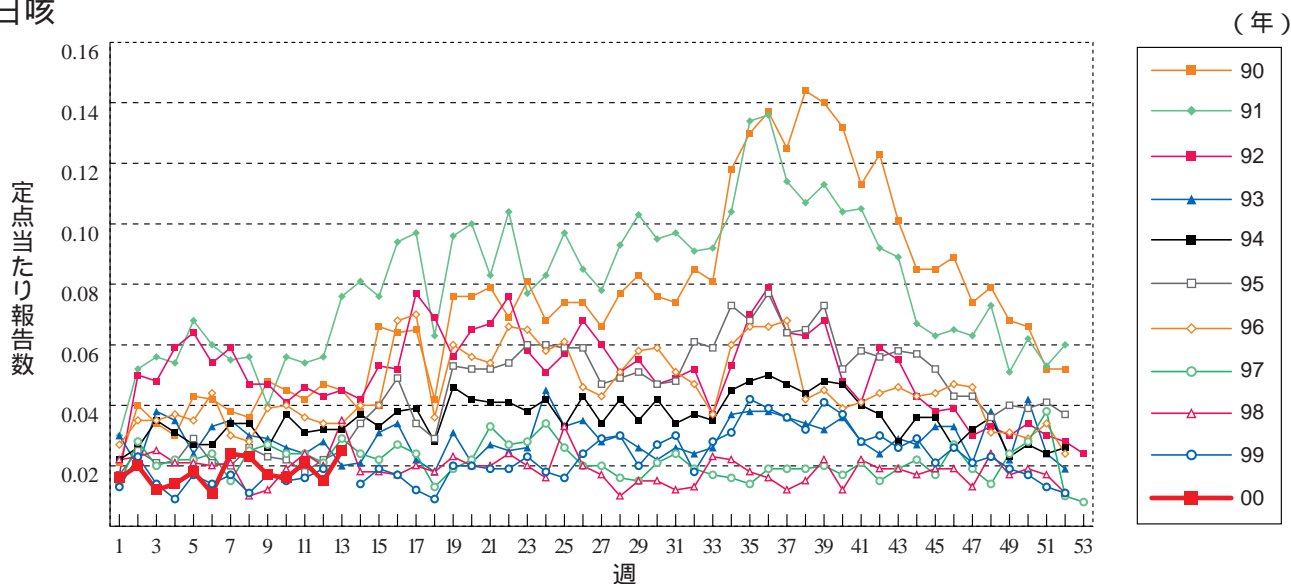
伝染性紅斑



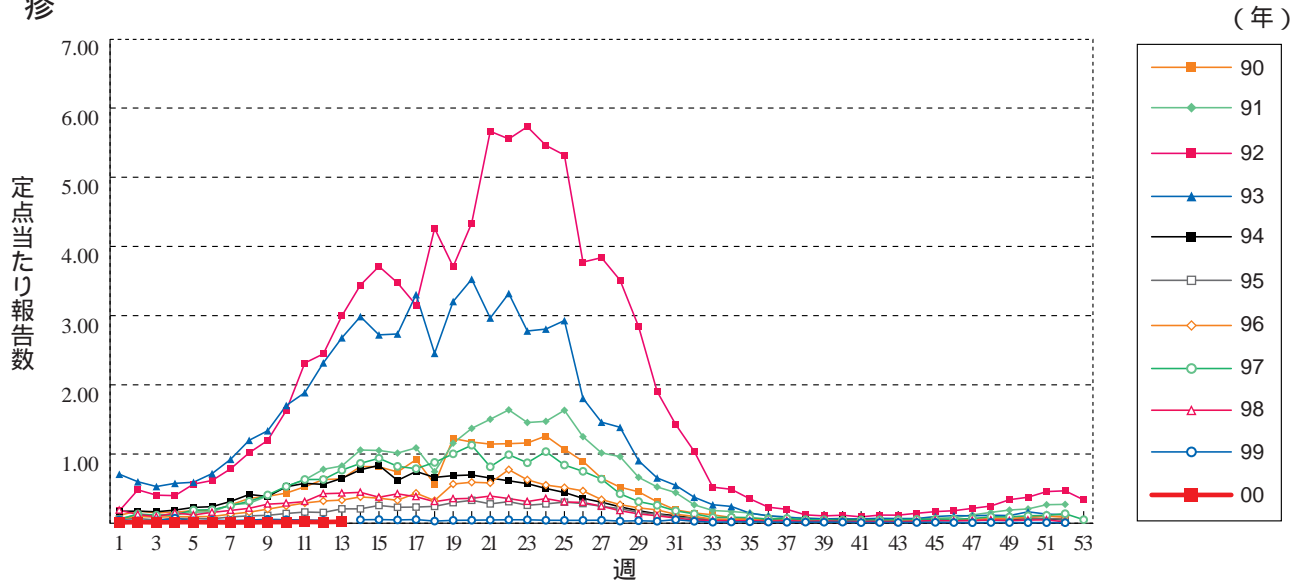
突発性発疹



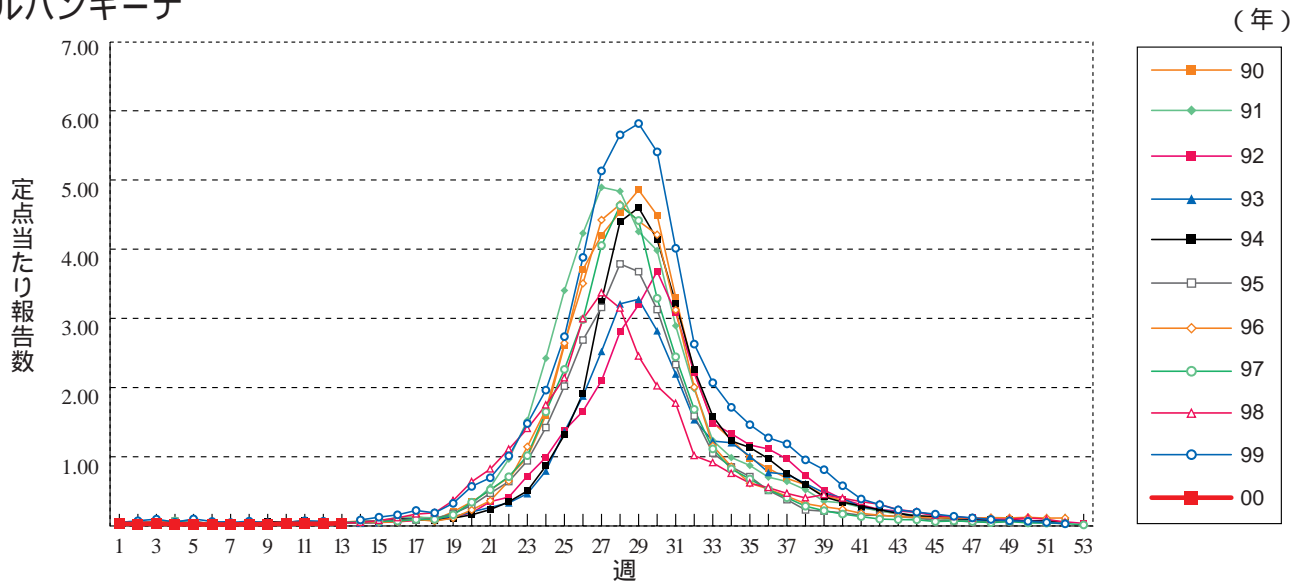
百日咳



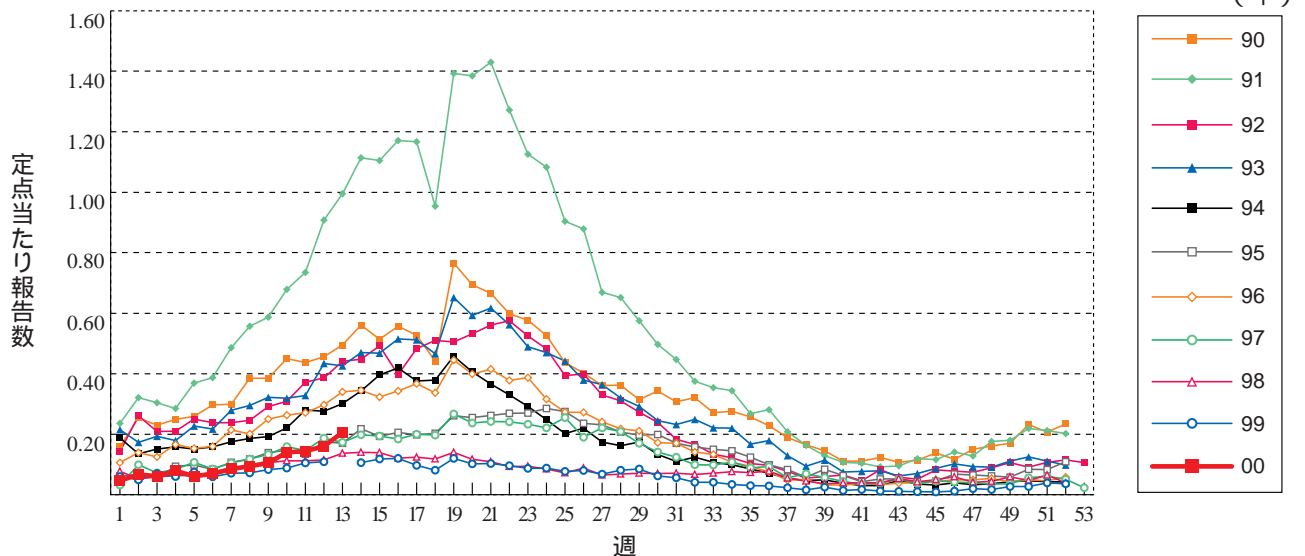
風 疹



ヘルパンギーナ

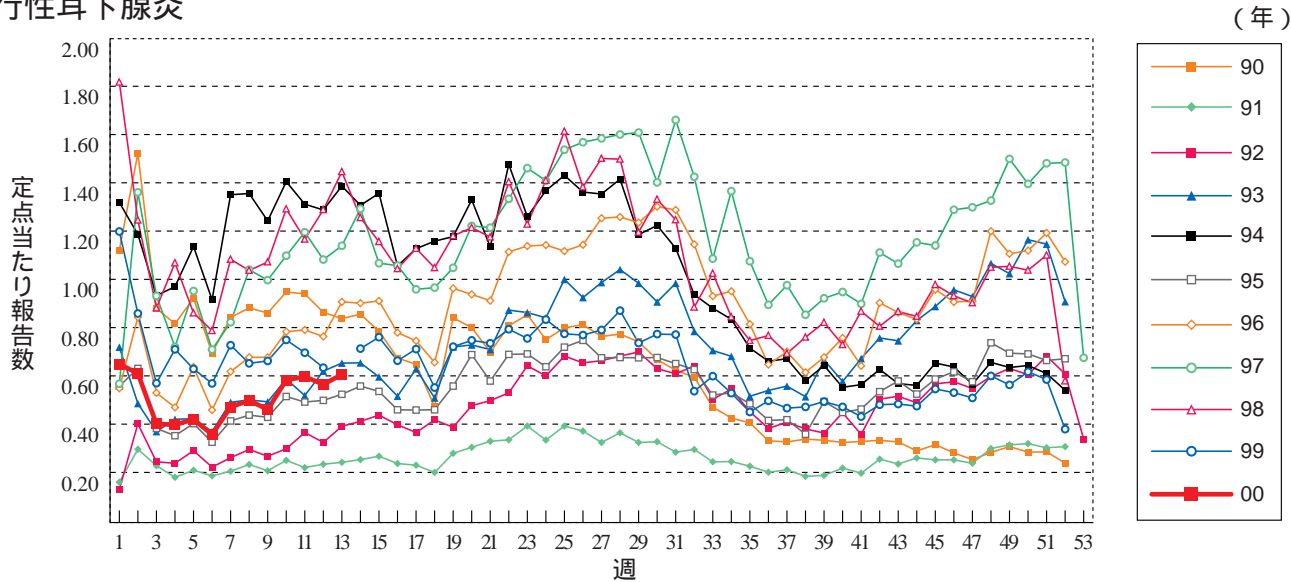


麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む

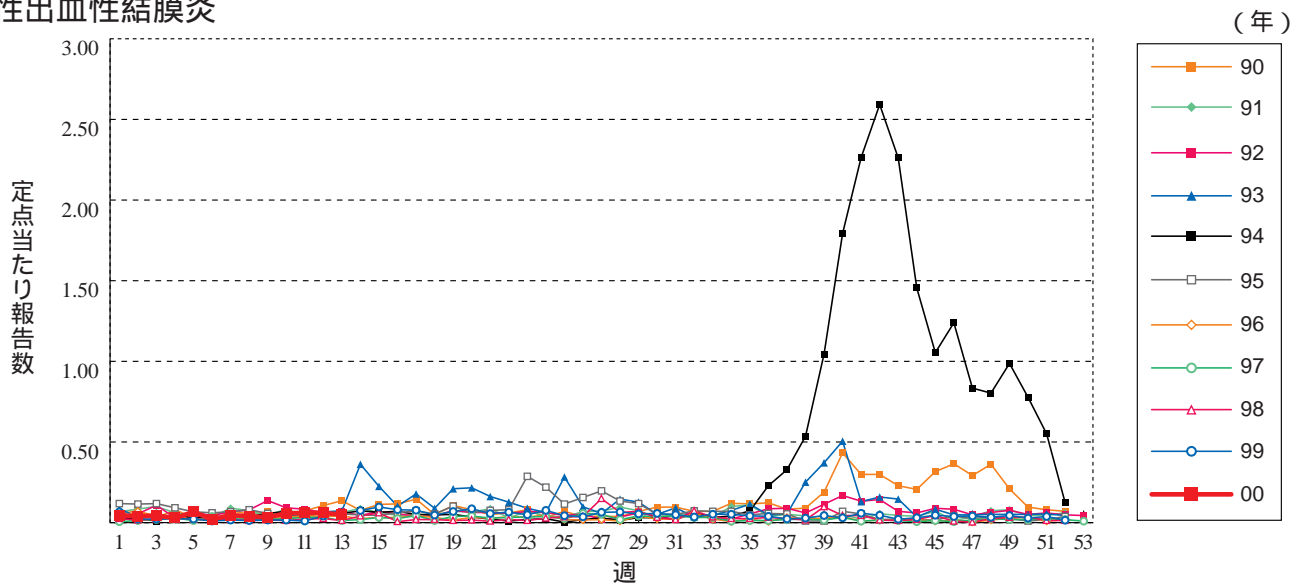




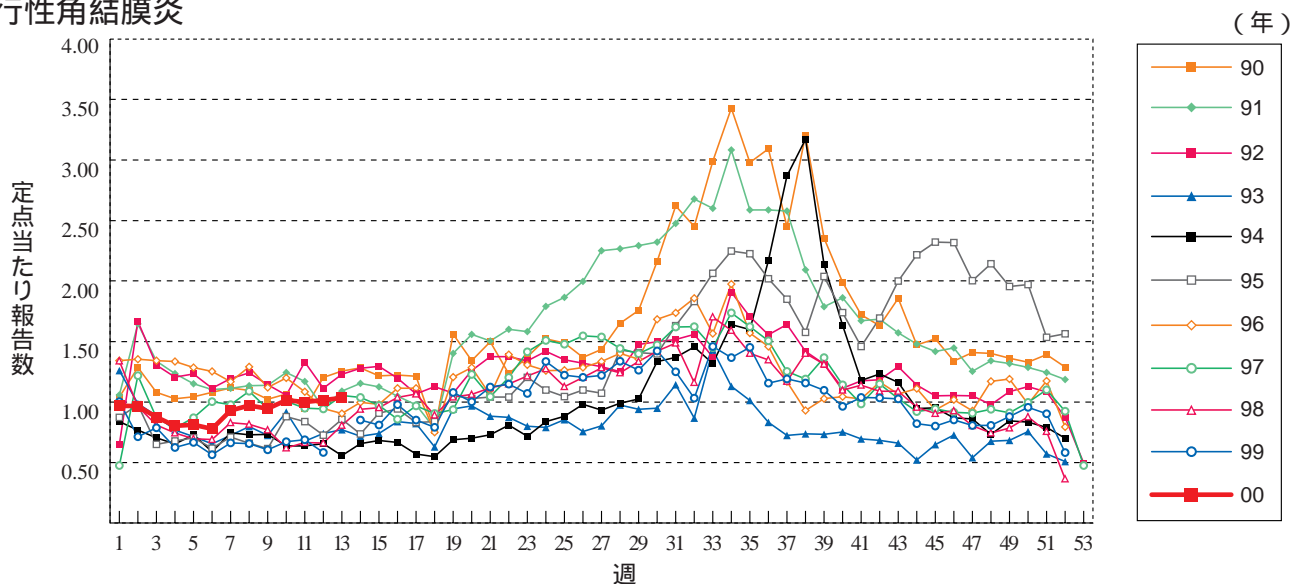
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

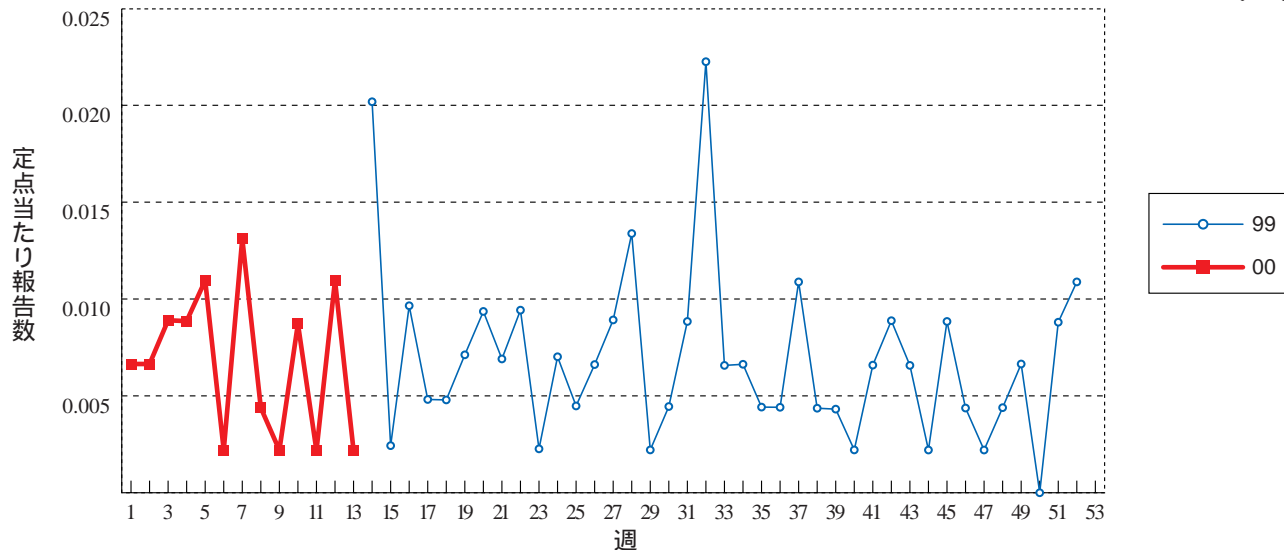


流行性角結膜炎



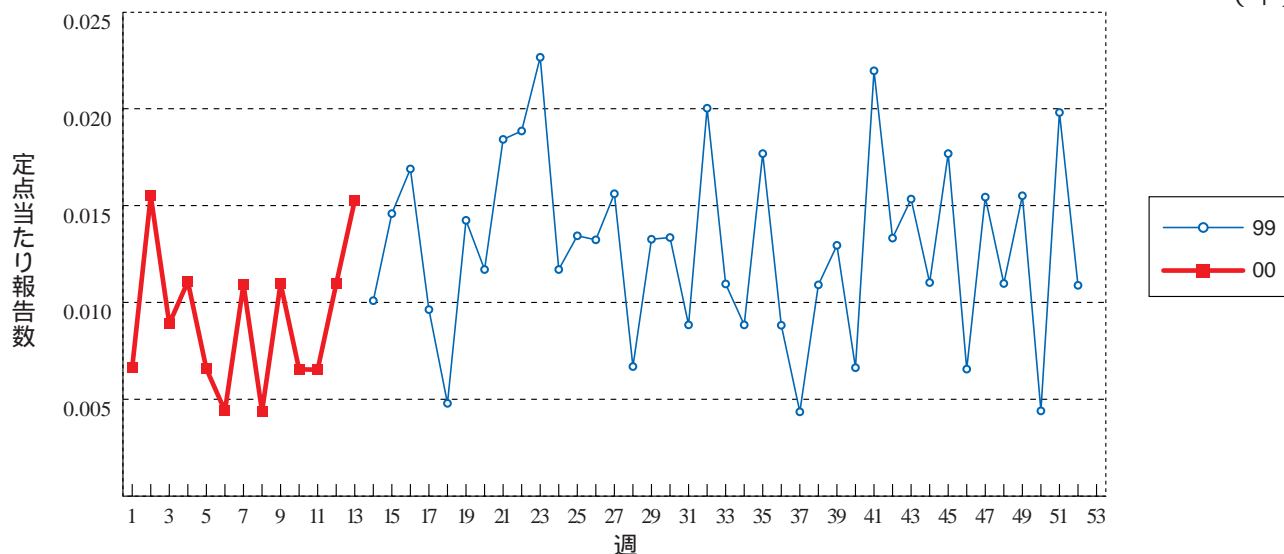
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



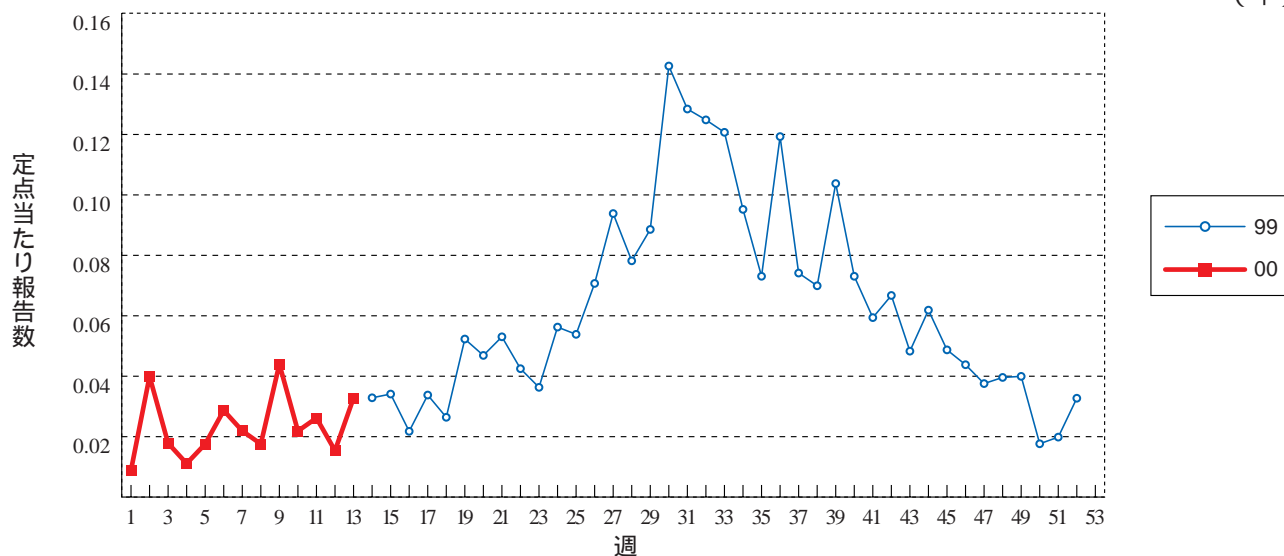
細菌性髄膜炎

(年)



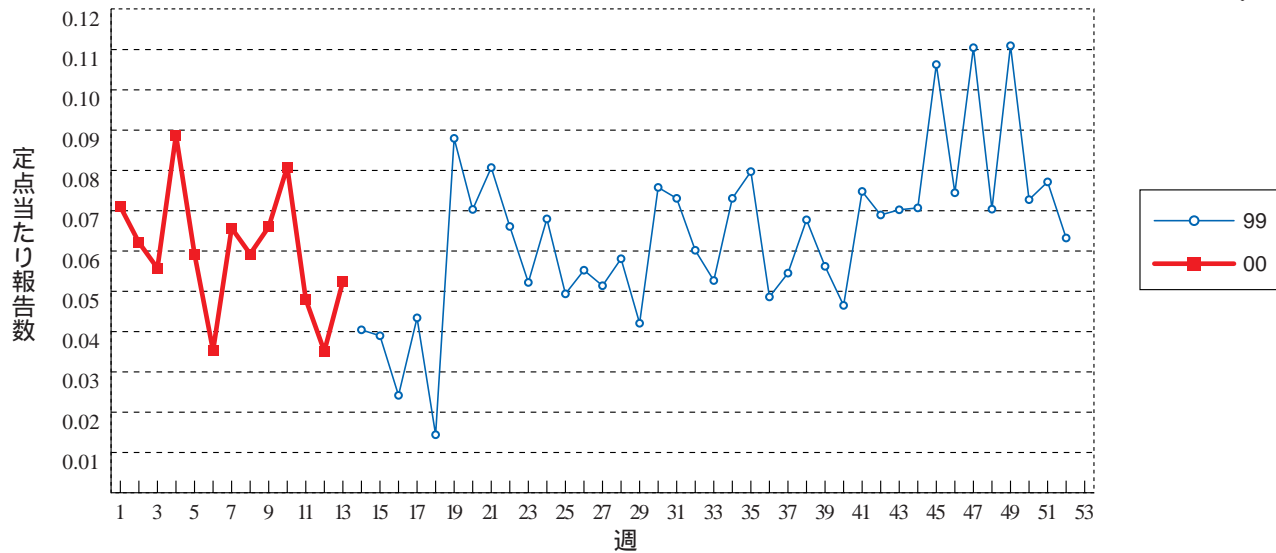
無菌性髄膜炎

(年)



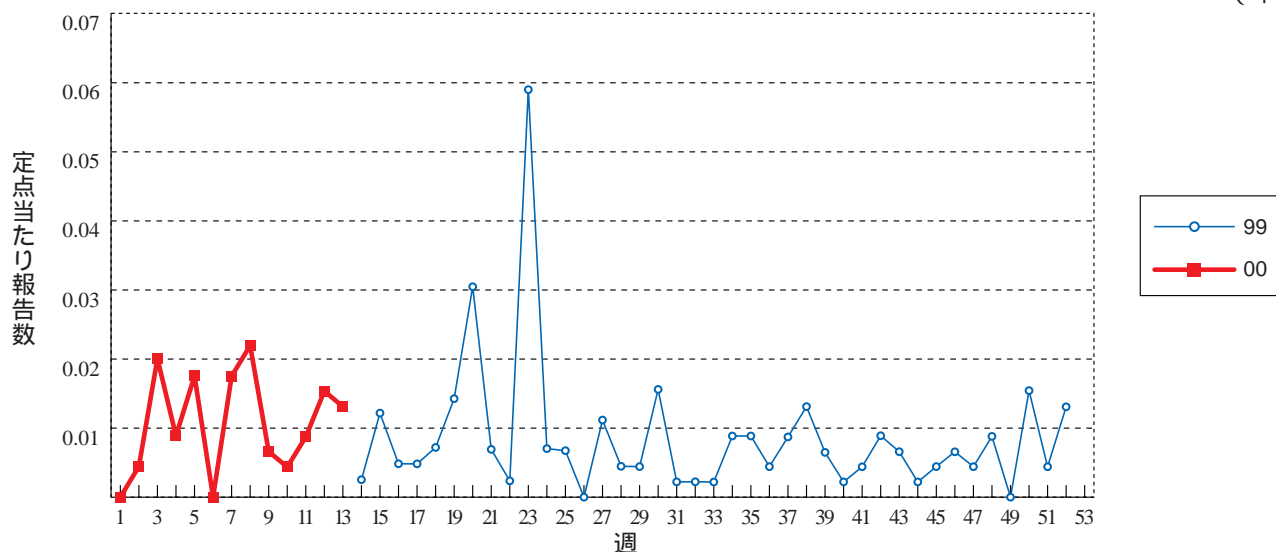
マイコプラズマ肺炎

(年)



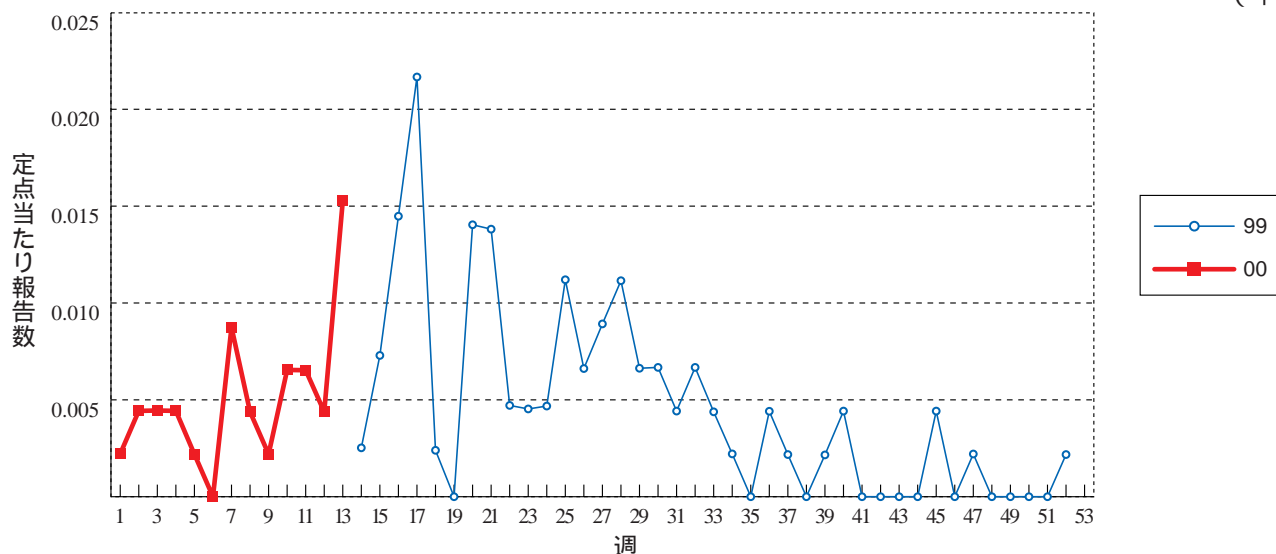
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





### 13週のデータ

注)表中の報告数は4月10日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年13週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	15	183	4	17	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	4	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	9	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	42	-	3	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	1	2	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	16	1	2	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年13週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	8	182	7	84	1	3	-	-	-	3	-	-	12	278
北海道	-	-	-	-	-	9	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮城県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
埼玉県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	1	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
東京都	-	-	-	-	3	13	3	28	-	-	-	-	-	1	-	-	1	31
神奈川県	-	-	-	-	-	17	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
静岡県	-	-	-	-	-	6	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	1	7	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
大阪府	-	-	-	-	1	10	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	4	25
兵庫県	-	-	-	-	-	8	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	31
奈良県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
広島県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
香川県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
高知県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福岡県	-	-	-	-	-	31	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
沖縄県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年13週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	27	-	13	5	146	-	-	1	16	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	9	-	-	-	3	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	10	-	-	-	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	4	-	-	3	55	-	-	-	2	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	12	-	-	-	6	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	2	1	5	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	1	1	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年13週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ポツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	7	-	-	-	-	1	56	-	-	-	-	-	-	-	-	3	184
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
千葉県	-	2	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
東京都	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33
兵庫県	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
島根県	-	-	-	-	-	-	1 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年13週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	10	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	26	-	-	6	32
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
東京都	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	10
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年13週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1162	0.26	83	0.03	2735	0.93	24330	8.25	5762	1.95	264	0.09	502	0.17	2143	0.73	73	0.02
北海道	91	0.40	4	0.03	148	1.03	423	2.94	153	1.06	10	0.07	49	0.34	80	0.56	-	-
青森県	13	0.20	-	-	23	0.56	87	2.12	78	1.90	-	-	22	0.54	26	0.63	2	0.05
岩手県	17	0.27	1	0.03	21	0.55	116	3.05	46	1.21	1	0.03	1	0.03	15	0.39	-	-
宮城県	57	0.59	-	-	69	1.17	444	7.53	143	2.42	1	0.02	40	0.68	61	1.03	2	0.03
秋田県	39	0.71	3	0.09	44	1.26	260	7.43	43	1.23	2	0.06	1	0.03	12	0.34	-	-
山形県	12	0.26	-	-	47	1.62	266	9.17	62	2.14	1	0.03	16	0.55	17	0.59	1	0.03
福島県	9	0.11	-	-	26	0.54	302	6.29	78	1.63	-	-	27	0.56	25	0.52	-	-
茨城県	15	0.13	-	-	98	1.36	521	7.24	99	1.38	2	0.03	9	0.13	52	0.72	2	0.03
栃木県	11	0.16	-	-	80	1.74	356	7.74	90	1.96	1	0.02	1	0.02	32	0.70	-	-
群馬県	18	0.18	1	0.02	94	1.52	506	8.16	93	1.50	13	0.21	6	0.10	42	0.68	1	0.02
埼玉県	36	0.21	2	0.02	148	1.32	1113	9.94	294	2.63	5	0.04	14	0.13	105	0.94	2	0.02
千葉県	44	0.21	4	0.03	182	1.36	1232	9.19	286	2.13	5	0.04	28	0.21	80	0.60	2	0.01
東京都	14	0.08	2	0.01	65	0.45	871	6.05	135	0.94	9	0.06	20	0.14	72	0.50	-	-
神奈川県	23	0.07	7	0.03	169	0.82	1575	7.65	353	1.71	10	0.05	48	0.23	168	0.82	1	0.00
新潟県	61	0.62	14	0.23	123	2.05	575	9.58	156	2.60	2	0.03	50	0.83	44	0.73	2	0.03
富山県	18	0.38	-	-	44	1.52	307	10.59	47	1.62	-	-	2	0.07	30	1.03	-	-
石川県	14	0.29	-	-	28	0.97	345	11.90	63	2.17	-	-	-	-	11	0.38	-	-
福井県	-	-	2	0.09	38	1.73	344	15.64	40	1.82	-	-	2	0.09	29	1.32	1	0.05
山梨県	4	0.10	-	-	13	0.52	126	5.04	34	1.36	-	-	1	0.04	11	0.44	-	-
長野県	64	0.79	4	0.08	48	0.92	679	13.06	57	1.10	-	-	17	0.33	38	0.73	1	0.02
岐阜県	24	0.29	1	0.02	43	0.81	298	5.62	80	1.51	1	0.02	-	-	28	0.53	-	-
静岡県	41	0.30	1	0.01	72	0.84	955	11.10	263	3.06	7	0.08	2	0.02	70	0.81	3	0.03
愛知県	57	0.30	4	0.02	132	0.73	1528	8.40	310	1.70	8	0.04	19	0.10	126	0.69	6	0.03
三重県	13	0.19	-	-	61	1.36	682	15.16	103	2.29	1	0.02	6	0.13	67	1.49	2	0.04
滋賀県	4	0.08	1	0.03	22	0.69	180	5.63	40	1.25	-	-	-	-	20	0.63	-	-
京都府	57	0.45	-	-	58	0.76	501	6.59	75	0.99	-	-	7	0.09	46	0.61	1	0.01
大阪府	57	0.21	3	0.02	90	0.48	1070	5.66	265	1.40	33	0.17	18	0.10	141	0.75	3	0.02
兵庫県	12	0.06	7	0.05	53	0.41	1266	9.89	331	2.59	3	0.02	13	0.10	122	0.95	2	0.02
奈良県	8	0.15	-	-	18	0.51	341	9.74	55	1.57	4	0.11	5	0.14	25	0.71	-	-
和歌山県	9	0.18	-	-	23	0.72	231	7.22	84	2.63	2	0.06	3	0.09	21	0.66	1	0.03
鳥取県	4	0.14	3	0.16	64	3.37	260	13.68	27	1.42	1	0.05	2	0.11	22	1.16	2	0.11
島根県	48	1.33	-	-	24	1.04	201	8.74	42	1.83	-	-	-	-	13	0.57	1	0.04
岡山県	5	0.06	3	0.06	50	0.93	352	6.52	94	1.74	-	-	7	0.13	15	0.28	6	0.11
広島県	6	0.05	4	0.05	29	0.39	873	11.64	132	1.76	3	0.04	2	0.03	53	0.71	2	0.03
山口県	19	0.27	-	-	44	0.90	482	9.84	88	1.80	2	0.04	3	0.06	47	0.96	1	0.02
徳島県	28	0.74	-	-	12	0.52	177	7.70	78	3.39	3	0.13	-	-	16	0.70	-	-
香川県	9	0.18	-	-	18	0.56	217	6.78	89	2.78	-	-	6	0.19	22	0.69	1	0.03
愛媛県	7	0.11	-	-	24	0.62	575	14.74	99	2.54	-	-	2	0.05	31	0.79	-	-
高知県	21	0.43	-	-	20	0.65	335	10.81	87	2.81	1	0.03	3	0.10	22	0.71	2	0.06
福岡県	30	0.19	-	-	86	1.10	726	9.31	235	3.01	24	0.31	14	0.18	54	0.69	8	0.10
佐賀県	8	0.21	1	0.04	20	0.87	187	8.13	55	2.39	3	0.13	-	-	30	1.30	-	-
長崎県	11	0.16	2	0.05	20	0.45	209	4.75	96	2.18	11	0.25	1	0.02	24	0.55	-	-
熊本県	19	0.23	-	-	32	0.65	393	8.02	136	2.78	71	1.45	11	0.22	42	0.86	2	0.04
大分県	15	0.26	1	0.03	37	1.03	548	15.22	35	0.97	3	0.08	14	0.39	46	1.28	6	0.17
宮崎県	29	0.48	2	0.05	121	3.27	632	17.08	139	3.76	-	-	3	0.08	36	0.97	4	0.11
鹿児島県	44	0.46	2	0.03	36	0.62	602	10.38	196	3.38	14	0.24	7	0.12	43	0.74	2	0.03
沖縄県	17	0.29	4	0.12	18	0.53	61	1.79	178	5.24	7	0.21	-	-	11	0.32	1	0.03

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年13週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	66	0.02	119	0.04	607	0.21	1804	0.61	31	0.05	644	1.03	1	0.00	7	0.02	15	0.03
北海道	1	0.01	-	-	10	0.07	51	0.35	-	-	13	0.42	-	-	1	0.04	-	-
青森県	-	-	2	0.05	-	-	43	1.05	-	-	13	1.18	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	2	0.05	19	0.50	10	0.26	3	0.25	13	1.08	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	4	0.07	2	0.03	8	0.14	1	0.09	3	0.27	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	0.03	1	0.03	10	0.29	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	19	0.66	-	-	3	0.38	-	-	1	0.11	-	-
福島県	-	-	6	0.13	5	0.10	20	0.42	3	0.25	9	0.75	-	-	-	-	-	-
茨城県	7	0.10	-	-	25	0.35	21	0.29	-	-	57	3.56	-	-	-	-	-	-
栃木県	5	0.11	-	-	39	0.85	7	0.15	-	-	11	0.92	-	-	-	-	-	-
群馬県	2	0.03	2	0.03	1	0.02	117	1.89	-	-	17	1.21	-	-	-	-	3	0.30
埼玉県	-	-	8	0.07	21	0.19	79	0.71	1	0.04	39	1.50	-	-	2	0.22	1	0.11
千葉県	16	0.12	3	0.02	93	0.69	91	0.68	2	0.06	29	0.83	-	-	-	-	2	0.15
東京都	3	0.02	7	0.05	12	0.08	78	0.54	-	-	8	0.53	-	-	-	-	-	-
神奈川県	1	0.00	4	0.02	12	0.06	113	0.55	1	0.02	45	1.07	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	3	0.05	1	0.02	34	0.57	-	-	4	0.44	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	1	0.03	-	-	2	0.07	-	-	2	0.29	-	-	1	0.20	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	5	0.17	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.05	1	0.05	-	-	5	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	1	0.02	28	0.54	1	0.10	10	1.00	-	-	-	-	-	-
岐阜県	2	0.04	4	0.08	45	0.85	15	0.28	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-
静岡県	7	0.08	1	0.01	12	0.14	117	1.36	-	-	12	0.57	1	0.11	-	-	1	0.11
愛知県	-	-	10	0.05	3	0.02	75	0.41	1	0.03	37	1.06	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	3	0.07	2	0.04	45	1.00	-	-	6	0.50	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	1	0.03	35	1.09	5	0.16	-	-	21	3.00	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.01	1	0.01	-	-	26	0.34	-	-	9	0.50	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.01	6	0.03	119	0.63	62	0.33	2	0.04	35	0.67	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	0.01	5	0.04	40	0.31	133	1.04	2	0.06	24	0.69	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	2	0.06	9	0.26	16	0.46	-	-	8	0.89	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	1	0.03	1	0.03	19	0.59	9	0.28	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	19	1.00	-	-	1	0.33	-	-	-	-	2	0.40
島根県	-	-	-	-	1	0.04	19	0.83	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	1	0.02	19	0.35	38	0.70	-	-	9	0.75	-	-	-	-	-	-
広島県	2	0.03	1	0.01	2	0.03	95	1.27	3	0.15	37	1.85	-	-	-	-	2	0.10
山口県	-	-	3	0.06	1	0.02	71	1.45	-	-	13	1.44	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	1	0.04	3	0.13	1	0.04	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.03	1	0.03	42	1.31	28	0.88	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	2	0.05	6	0.15	15	0.38	-	-	14	2.00	-	-	-	-	1	0.17
高知県	1	0.03	-	-	-	-	23	0.74	-	-	7	2.33	-	-	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	4	0.05	2	0.03	52	0.67	-	-	19	1.06	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	5	0.22	-	-	23	1.00	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	2	0.05	-	-	35	0.80	8	1.00	13	1.63	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	12	0.24	1	0.02	55	1.12	-	-	19	2.11	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	4	0.11	4	0.11	8	0.22	1	0.20	10	2.00	-	-	-	-	-	-
宮崎県	10	0.27	2	0.05	-	-	64	1.73	-	-	16	4.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	1	0.02	-	-	10	0.17	-	-	13	2.17	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	-	-	2	0.06	-	-	3	0.09	2	0.20	19	1.90	-	-	1	0.14	-	-



第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年13週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	24	0.05	6	0.01	7	0.02
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.20	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	3	0.16
宮城県	10	0.83	5	0.42	-	-
秋田県	2	0.29	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	1	0.09
新潟県	1	0.08	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.11	-	-	-	-
愛知県	3	0.23	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.13	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	0.17
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	3	0.43	1	0.14	-	-

感染症週報 第2巻、第13号 平成12年4月14日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生省保健医療局結核感染症課  
 厚生省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 TEL：03-5285-1111  
 FAX：03-5285-1129  
 URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html  
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>  
 http://www.mhw.go.jp/  
 <厚生省>  
 http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/  
 <成田空港検疫所>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。